平成２５年１２月発行　第５９号

ダムの風だより

国土交通省　大町ダム

”大町ダム管理所”の近況をお知らせする広報誌です！

高瀬渓谷緑地公園から眺める大町ダム　10月24日撮影

高瀬川の瀬切れ対策状況

大町ダムでは高瀬川の川の流れを常に監視し、瀬切れが発生又は発生の恐れがある場合には、ダムからの放流量を多くする（追加放流）ことで瀬切れから高瀬川を守っています。

【平成25年の追加放流実績　（11月1日時点）】
追加放流：5回実施
累計放流量：約60万m³　　※東京ドーム約0.5杯分

追加放流のイメージ

瀬切れとは？

瀬切れとは、川の流れが途中で途切れてしまう現象だよ。川の流れが途切れると、そこに棲む魚（ウグイ、イワナ、ヤマメ、カジカなど）は生きていけなくなってしまうね。

高瀬川に棲む魚たちを守るために、大町ダムは追加放流をして瀬切れを解消しているのね！

大町ダム　地震に備えた取り組み

震度4以上の地震発生後、大町ダムではダムが地震の被害を受けていないか確認するために緊急的に点検を行っています。
いつくるか分からない大地震に備え、毎年地震発生を想定した訓練を実施しています。訓練では地震発生後の点検箇所の確認などをおこないました。
また、ダム内部には地震計が設置されており地震観測を行っています。

訓練の様子

地震発生後の点検箇所を確認

ダム内部の地震計

9月に地震計を更新しました

もっと知りたい大町ダム！【大町ダム誕生の歴史】

大町ダム建設促進は「44災」が契機

1969(昭和44)年8月11日に高瀬川で大洪水が発生しました。この災害は「44災」と呼ばれています。
この大洪水を契機に大町ダムの建設が促進され、昭和52年に本体工事に着手、約9年の歳月を掛けて昭和61年3月に完成しました。

「44災」による被害
- ○被害総額　32億円
- ○床上浸水　287戸
- ○浸水した田畑　586ha
- ○約1,000人が孤立

～～ダム内部見学休止のお知らせ～～

エレベータ補修工事のため、下記の期間、ダム内部見学を休止致します。長期間の休止となり、大変申し訳ありませんが、ご理解をお願いします。
平成25年11月18日（月）午前～平成26年3月中旬頃まで（長期休止）

洪水から地域の人々の生命や財産を守り、ふるさとの大切な水資源を活かすことが大町ダムの使命です。
ダムに関するご意見やご要望をお待ちしています。

国土交通省 北陸地方整備局 大町ダム管理所
〒398-0001　長野県大町市平字ナロヲ大クボ2112-71　TEL. 0261-22-4511（代）　FAX. 0261-22-4512
http://www.hrr.mlit.go.jp/omachi/